



2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月13日

上場会社名 株式会社グルメ杵屋

上場取引所 東

コード番号 9850 URL <https://www.gourmet-kineya-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 椋本 充士

問合せ先責任者 (役職名) 経理・グループ統括室担当執行役員 (氏名) 井坂 匡伸

TEL 06-6683-1222

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	32,472	15.4	1,287	118.6	1,330	141.5	813	23.0
2024年3月期第3四半期	28,149	23.7	588		550		1,056	

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 822百万円 (17.2%) 2024年3月期第3四半期 992百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	35.58	
2024年3月期第3四半期	46.20	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	36,476	9,582	25.8	411.56
2024年3月期	37,690	8,898	23.2	382.38

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 9,413百万円 2024年3月期 8,746百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		6.00	6.00
2025年3月期		0.00			
2025年3月期(予想)				6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,165	13.9	1,207	185.9	1,189	214.3	441	59.7	19.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	22,910,275 株	2024年3月期	22,910,275 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2025年3月期3Q	36,250 株	2024年3月期	36,250 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	22,874,025 株	2024年3月期3Q	22,874,064 株
------------	--------------	------------	--------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これからの予測数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費やインバウンド需要の拡大など経済活動の正常化を背景に景気は緩やかに回復してきております。しかしながら、円安の長期化や地政学的リスクに起因するエネルギー資源や原材料価格などの高騰等もあり、依然として先行きは不透明な状況となっております。

外食産業におきましては、経済活動の正常化による人流増加に加え、インバウンドの回復も追い風となり、需要は堅調に回復したものの、原材料、光熱費等様々なコストの上昇、人手不足による人件費の増加が継続しており、事業を取り巻く経営環境は依然として厳しいものとなっております。

このような状況の中、当社グループはグループ一丸となって事業収益の最大化を図るため、戦略構築と実行を徹底し、企業風土の変革を希求し続けてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高324億72百万円（前年同期比43億23百万円増）、営業利益12億87百万円（前年同期は営業利益5億88百万円）、経常利益13億30百万円（前年同期は経常利益5億50百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益8億13百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益10億56百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(レストラン事業)

レストラン事業においては、客数回復と利益確保を重視した方針のもと、オペレーション改善によるピーク時の回転率アップ、モバイルオーダーの導入による追加注文の促進、原材料高騰に対するメニュー改定等の対策に取り組むことにより、売上高の増加及びコスト削減を図りました。

新店はそば部門の「叶家」1店舗、アジア部門その他の「シジャン」3店舗の合計4店舗であります。業態変更は1店舗、退店は14店舗であります。この結果、当第3四半期連結会計期間末におけるレストラン事業の店舗数は、34都道府県に387店舗（フランチャイズ店舗91店舗を含む）となりました。

以上の結果、レストラン事業の売上高は187億14百万円（前年同期比7.5%増）、セグメント利益6億5百万円（前年同期は5億22百万円の利益）となりました。

(機内食事業)

機内食事業においては、国際線の航空需要が回復したため搭載食数が増加したことから増収増益となりました。

以上の結果、機内食事業の売上高は53億41百万円（前年同期比114.1%増）、セグメント利益3億52百万円（前年同期は3億73百万円の損失）となりました。

(業務用冷凍食品製造事業)

業務用冷凍食品製造事業においては、冷凍弁当の製造販売が増加したことにより増収となりましたが、利益率の高い季節品のおせちの製造販売が減少したことから減益となりました。

以上の結果、業務用冷凍食品製造事業の売上高は55億44百万円（前年同期比0.7%増）、セグメント利益4億4百万円（前年同期は4億43百万円の利益）となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業においては、大阪木津卸売市場の入居率はほぼ前年同期並みであります。駐車場使用料収入等が増加し増収増益となりました。

以上の結果、不動産賃貸事業の売上高は5億25百万円（前年同期比1.6%増）、セグメント利益2億26百万円（前年同期は2億21百万円の利益）となりました。

(運輸事業)

水間鉄道においては、運賃改定及びイベント実施等の効果により増収となりましたが、運賃改定費用等のコストが増加し、減益となりました。

以上の結果、運輸事業の売上高は3億27百万円（前年同期比3.1%増）、セグメント損失41百万円（前年同期は27百万円の損失）となりました。

(その他)

大阪木津卸売市場で展開しております水産物卸売事業は、魚介の卸売数量が増加したことから増収となりましたが、原価率が上昇したためわずかに減益となりました。日本食糧卸売で展開しております米穀卸売事業は、販売数量が増加したことにより増収増益となりました。

以上の結果、その他の売上高は20億19百万円（前年同期比5.7%増）、セグメント損失30百万円（前年同期は59百万円の損失）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は143億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億29百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金30億8百万円の減少、売掛金14億98百万円の増加によるものであります。固定資産は221億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億15百万円増加いたしました。これは主に機械装置及び運搬具50百万円の増加、工具、器具及び備品66百万円の増加によるものであります。

この結果、総資産は、364億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億13百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は98億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億74百万円増加いたしました。これは主に短期借入金14億円の増加、未払費用1億92百万円の増加によるものであります。固定負債は170億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億72百万円減少いたしました。これは主に長期借入金35億29百万円の減少によるものであります。

この結果、負債合計は、268億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億98百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は95億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億84百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益8億13百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は25.8%（前連結会計年度末は23.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年11月13日に発表いたしました連結業績予想の数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,776,116	8,767,201
預け金	511,360	492,312
売掛金	2,251,266	3,749,860
商品及び製品	336,200	307,572
原材料及び貯蔵品	327,509	488,184
短期貸付金	247	402
未収入金	196,788	98,558
未収消費税等	66,258	96,448
その他	183,614	320,679
貸倒引当金	△1,202	△2,084
流動資産合計	15,648,161	14,319,137
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,453,661	28,868,050
減価償却累計額	△21,567,271	△21,964,349
建物及び構築物(純額)	6,886,389	6,903,701
機械装置及び運搬具	3,406,674	3,531,590
減価償却累計額	△2,532,375	△2,606,401
機械装置及び運搬具(純額)	874,298	925,189
工具、器具及び備品	2,054,270	2,175,350
減価償却累計額	△1,595,268	△1,650,256
工具、器具及び備品(純額)	459,001	525,094
土地	7,726,211	7,726,211
建設仮勘定	83,243	142,540
有形固定資産合計	16,029,144	16,222,736
無形固定資産		
のれん	197,300	153,098
その他	132,715	122,102
無形固定資産合計	330,015	275,200
投資その他の資産		
投資有価証券	941,231	919,076
長期貸付金	158,211	175,670
差入保証金	4,322,847	4,316,802
繰延税金資産	163,682	163,829
その他	115,276	102,359
貸倒引当金	△18,438	△18,438
投資その他の資産合計	5,682,810	5,659,300
固定資産合計	22,041,971	22,157,238
資産合計	37,690,132	36,476,375

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,227,819	1,739,812
短期借入金	500,000	1,900,000
1年内返済予定の長期借入金	※2 3,012,296	※2 2,932,205
未払金	667,491	519,822
未払費用	1,392,746	1,584,800
未払法人税等	182,526	297,652
未払消費税等	474,492	251,912
賞与引当金	100,475	71,315
資産除去債務	109,200	130,484
その他	550,083	463,427
流動負債合計	8,217,131	9,891,433
固定負債		
長期借入金	※2 17,045,850	※2 13,516,010
長期未払金	8,056	9,738
繰延税金負債	1,222,628	1,205,797
退職給付に係る負債	87,491	88,146
資産除去債務	1,450,738	1,438,119
その他	760,052	744,296
固定負債合計	20,574,818	17,002,108
負債合計	28,791,950	26,893,542
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	8,345,313	8,345,313
利益剰余金	182,233	858,931
自己株式	△35,493	△35,493
株主資本合計	8,592,053	9,268,751
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133,479	95,045
為替換算調整勘定	20,451	49,274
退職給付に係る調整累計額	564	891
その他の包括利益累計額合計	154,495	145,212
非支配株主持分	151,632	168,868
純資産合計	8,898,182	9,582,832
負債純資産合計	37,690,132	36,476,375

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	28,149,583	32,472,709
売上原価	18,000,920	20,776,402
売上総利益	10,148,662	11,696,306
販売費及び一般管理費	9,559,688	10,408,730
営業利益	588,974	1,287,576
営業外収益		
受取利息	3,764	4,810
受取配当金	38,405	51,033
投資有価証券売却益	70	-
賃貸料収入	116,008	125,461
その他	56,607	66,634
営業外収益合計	214,856	247,939
営業外費用		
支払利息	128,081	134,518
借入手数料	1,000	1,000
賃貸費用	61,217	66,434
持分法による投資損失	48,387	-
その他	14,296	3,077
営業外費用合計	252,983	205,029
経常利益	550,847	1,330,485
特別利益		
固定資産売却益	689,720	559
投資有価証券売却益	173,724	-
助成金収入	3,110	4,846
その他	2,170	-
特別利益合計	868,725	5,406
特別損失		
固定資産除却損	8,540	7,690
固定資産売却損	-	612
減損損失	7,117	88,309
投資有価証券評価損	999	847
退店違約金	1,500	900
特別損失合計	18,158	98,358
税金等調整前四半期純利益	1,401,414	1,237,533
法人税等	359,364	417,163
四半期純利益	1,042,049	820,369
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△14,632	6,427
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,056,682	813,941

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,042,049	820,369
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△59,403	△42,228
為替換算調整勘定	9,227	43,672
退職給付に係る調整額	366	327
持分法適用会社に対する持分相当額	365	-
その他の包括利益合計	△49,442	1,770
四半期包括利益	992,607	822,139
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,005,235	804,658
非支配株主に係る四半期包括利益	△12,627	17,481

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

1 保証債務

他の会社の金融機関からの借入に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
社会福祉法人ジー・ケー社会貢献会	334,680千円	316,590千円

※2 財務制限条項

(1) 当社は、2018年6月26日付で㈱三井住友銀行をアレンジャーとする、既存取引行4行によるコミット型シンジケートローン契約を締結しております。この契約には、以下の財務制限条項が付されております。

① 2019年3月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における（但し、2021年3月期は除く）、単体及び連結の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額に㈱日本政策投資銀行より調達した2021年11月30日付劣後特約付金銭消費貸借契約に基づく資本性劣後ローンの残存期間に応じた一定割合の残高（以下、本件劣後ローンみなし残高という。）の合計金額を加えた金額を、当該事業年度の直前の単体及び連結の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額に本件劣後ローンみなし残高の合計金額を加えた金額の75%に相当する金額以上に単体又は連結のいずれかが維持すること

② 2019年3月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における（但し、2021年3月期は除く）、単体の損益計算書に記載される経常損益を2期連続して損失としないこと
上記財務制限条項のほか、担保制限条項が付されております。

(2) 当社は、2021年3月26日付けで㈱三井住友銀行をアレンジャー、㈱三菱UFJ銀行をジョイント・アレンジャーとする、既存取引行9行によるコミット型シンジケートローン契約を締結しております。この契約には、以下の財務制限条項が付されております。

① 2021年3月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における単体の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額に本件劣後ローンみなし残高の合計金額を加えた金額を、負の値としないこと

② 2021年3月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における連結の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額に本件劣後ローンみなし残高の合計金額を加えた金額を、負の値としないこと
上記財務制限条項のほか、担保制限条項が付されております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	777,195千円	790,370千円
のれんの償却額	49,078千円	44,201千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食 事業	業務用冷凍 食品製造 事業	不動産 賃貸事業	運輸事業	計				
売上高										
一時点で移転される 財	17,404,514	2,495,162	5,504,082	-	176,115	25,579,874	1,911,296	27,491,171	-	27,491,171
一定の期間にわたり 移転される財	-	-	-	-	141,161	141,161	-	141,161	-	141,161
顧客との契約から生 じる収益	17,404,514	2,495,162	5,504,082	-	317,277	25,721,036	1,911,296	27,632,333	-	27,632,333
その他の収益 (注) 4	-	-	-	517,250	-	517,250	-	517,250	-	517,250
外部顧客に対する 売上高	17,404,514	2,495,162	5,504,082	517,250	317,277	26,238,287	1,911,296	28,149,583	-	28,149,583
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	44,092	24,366	-	24,990	93,449	601,583	695,032	△695,032	-
計	17,404,514	2,539,254	5,528,449	517,250	342,267	26,331,736	2,512,880	28,844,616	△695,032	28,149,583
セグメント利益又は 損失(△)	522,094	△373,616	443,532	221,846	△27,505	786,351	△59,454	726,896	△137,921	588,974

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業、米穀卸売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△137,921千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食 事業	業務用冷凍 食品製造 事業	不動産 賃貸事業	運輸事業	計				
売上高										
一時点で移転される 財	18,714,431	5,341,097	5,544,819	-	178,094	29,778,442	2,019,775	31,798,218	-	31,798,218
一定の期間にわたり 移転される財	-	-	-	-	148,928	148,928	-	148,928	-	148,928
顧客との契約から生 じる収益	18,714,431	5,341,097	5,544,819	-	327,023	29,927,370	2,019,775	31,947,146	-	31,947,146
その他の収益 (注) 4	-	-	-	525,562	-	525,562	-	525,562	-	525,562
外部顧客に対する 売上高	18,714,431	5,341,097	5,544,819	525,562	327,023	30,452,933	2,019,775	32,472,709	-	32,472,709
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	133,546	23,685	-	30,918	188,150	682,001	870,151	△870,151	-
計	18,714,431	5,474,643	5,568,504	525,562	357,941	30,641,083	2,701,777	33,342,860	△870,151	32,472,709
セグメント利益又は 損失 (△)	605,565	352,532	404,590	226,529	△41,247	1,547,971	△30,158	1,517,813	△230,236	1,287,576

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業、米穀卸売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△230,236千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。